



日本の
ひなた
宮崎県

中部教育事務所だより「絆」 5月号



～子どもたちの社会的・

職業的自立を目指して～

令和3年5月14日(金)

発行所 中部教育事務所

令和3年度 学力向上に向けた重点取組事項について

5月9日(日)に本県独自の緊急事態宣言が発令され、各種研修等がオンライン開催または中止、延期と変更を余儀なくされております。そのような中ではありますが、中部教育事務所としましては「児童生徒の学びの保障」という観点から、以下の「**学力向上プロジェクト**」に基づき、「**『徹底』と『具体化』による学力向上の推進**」に取り組んでまいります。なお、このことにつきまして、北林所長が各市町村教育委員会を訪問し、学力向上に向けた取組や支援体制等について、教育長に説明をさせていただいたところです。

本年度も重点支援校訪問や学校支援訪問等におきましては、市町村教育委員会との緊密な連携のもと、具体的に徹底した支援に努めてまいりたいと考えております。

御理解と御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度 中部教育事務所 学力向上プロジェクト

「徹底」と「具体化」による学力向上の推進

学力向上に関するこれまでの取組の課題を洗い出し、

(1) 授業改善 (2) 基礎的な学力の定着 (3) 読解力の育成
の3点に焦点を当て、「徹底」と「具体化」をコンセプトに学力向上に取り組めます。



授業改善

- 4+4のチェックポイントに基づく授業改善と校内の授業改善サイクルの定着を図ります。
- ☛ 各チェックポイントにおける指導例や授業改善サイクルの具体例をわかりやすく可視化します。



学びの
見届け
と確認

基礎的な学力の定着

- 学力の定着のための補充学習や家庭学習の改善案を提案します。
- ICTを活用した学力の定着を後押しします。
- ☛ ICT推進校ほか、効果を上げている学校の実践例を紹介し、具体的にサポートします。



支援訪問における指導助言や主催研修の内容に
「徹底」と「具体化」をプラス!

読解力の育成

- 学調レベルの問題にも対応できる読解力の育成を目指します。
- ☛ 効果を上げている学校の実践例や学調の分析方法を紹介し、より具体的にサポートします。



支援訪問

教員個々の課題を管理職と共有し、つなぎの期間の充実につなげます。

新規!

主催研修

学力向上担当者等を対象に、効果的な取組について具体的に提案します。

新規!

学校サポート

(ブラッシュアップ・サポート)
新たに立ち上げた個人向け授業改善サポートでマンツーマンの支援を行います。

HPや通信

効果を上げている取組を毎月紹介し、ノウハウの共有を図ります。

ポイント1

4つのチェックポイントに基づく授業改善により、知識・技能の習得、活用力及び読解力の育成を図りましょう。

ポイント2

単元末や学期末に単元問題等を使って、知識・技能の習得及び活用力の評価を行うなど、「**学びの見届け**」をしましょう。

ポイント3

学年末に、全国学力調査やみやざき学力調査問題等を使って、知識・技能の習得及び活用力の評価を行うなど、「**学びの確認**」を行います。

※ web評価システムのダウンロードは5月までです。

令和3年度 重点支援校について

中部教育事務所管内の重点支援校8校を指定しました。「**4+4のチェックポイント**」を意識しながら授業改善につなげていき、取組の紹介等を本通信でも行っていきます。

地区	数	学校名
宮崎	1	木脇中
南那珂	2	細田中、大東小
児湯	5	高鍋西小、富田中、村所小、通山小、都農中

問合せ先：中部教育事務所
(担当：岩原)

TEL (0985) 44-3322

Fax (0985) 44-3330

代表アドレス

chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

ポイント4 中部教育事務所の新規取組について

(1) 各小・中学校の、**学力向上担当者を対象とした研修会**を実施します。授業改善に加え、家庭学習の在り方について協議等を行います。なお、研修後には各学校において、校内研修を行い、共通理解及び共通実践をお願いします。

(2) 「**ブラッシュアップ・サポート**」として、昨年までの学校サポートに加え、個人向けの授業サポートをマンツーマンで行います。御希望の方は5月31日までにお申し込みください。

